



## 今月のお題

---

### 連携先との対話などから 課題を見直し、実現のために 必要なことを検討しましょう

次年度の体制を検討する時期に入っている園が多いことと思います。今年度明らかになった保育としての課題や、個々の乳幼児への対応などは、園全体の体制や理念と大きく関連します。インクルーシブな保育の実現に近づけるために何が必要であるか、具体的に検討してみましょう。

## 見直しの視点

---

#### ☐ 連携の課題はどこにあるのか？

連携は待っていても始まらない現実があります。保幼小の連携などは国が架け橋期の重要性などを多数示しています。しかし、乳幼児期からの育ちをどのように接続するか、まだ課題が多くあります。担当者任せにせず、園としての取り組みを見直してみましょう。

#### ☐ 障害のある子どもへの個別指導について 知る機会を

療育センターなどの児童の発達を支援する機関には様々な指導法が存在しています。保育と近い部分もあれば、全く別の理念に立脚している場合もあります。折を見て、見学や対話などによって双方の考えを知る機会を大切にしましょう。

#### ☐ 連携が難しいなら、 どこに問題があるか確認しましょう

連携ができるととても良い出来事が起こる可能性があります。逆に連携が困難になると課題が生まれてきます。どこに問題があるのかを全教職員で共有しましょう。